

6/1 11:55-12:35	科研審査の改革についての説明会							
	昼食							
6/1 12:35-12:55	A6古川不可知（国立民族学博物館）「土砂崩れとぬかるみヒマラヤ山間部を運転することについての試論 -」	B6竹川大介（北九州市立大学）「スキルからアートへ-国際芸術祭で『狩り』をする人類学者-」	C6岸上伸啓（国立民族学博物館／人間文化研究機構）「変化する人間と鯨の関係-アラスカ先住民イヌビアットの事例を中心に-」	D6松永千紗（総合研究大学院大学）「非経験者による日系人強制収容の記憶継承-サンノゼ日系アメリカ人博物館を事例に-」	E6阿久津昌三（信州大学）「アフリカ諸国の独立60周年に向けて-ガーナの独立記念式典の変容過程の事例を中心として-」	F6星野麗子（総合研究大学院大学）「清明節の儀礼の実践から見た人と人の繋がり方-中国四川省成都市郊外のS村X宗族を事例に-」	G6酒井貴広（早稲田大学）「情報の共有と実践に関する文化人類学的研究試論-高知県下の『大神』と『予感』を事例として-」	H7鶴田星子（京都大学大学院）「現代インドにおける異宗教間夫婦の『つながり』をめぐる日常的な奮闘-マハーラーシュトラ州における家族との断絶と交渉に着目して-」
6/1 13:00-13:20	A7桐耐晶（保昭）（有）片桐仮店_アトリエピアノ）「行動を保留するリゾートづくり-風景は文化の反映か-」	B7諏訪淳一郎（弘前大学）「夢のアッサンブルージュ：ババアニユーニアにおけるギターバンド歌謡の技法をめぐって」	C7近藤社秋（北海道大学）「内陸アラスカにおける漁撈・管理史と現代的課題-科学人類学と狩猟採集民研究のはざまで-」	D7竹沢泰子（京都大学）「トランスペシフィックにおける『つながり』の芸術-ジーン・シンと井上葉子の作品から-」	E7岡野英之（立命館大学）「隣国が支えるナショナリズム-タイ=ミャンマーをまたぐシャン人の言説空間を支えるもの-」	F7吉田佳世（追手門学院大学）「夕暮れにきた客-沖縄本島北部における旧盆行事の現在-」	G7横田浩一（国立民族学博物館）「民俗宗教をめぐる自律性-中国広東省東部の村落における旧盆行事の現在-」	H8中川加奈子（追手門学院大学）「ネパールにおける『衛生』『健康』言説の生成と肉食文化の展開-肉売りカースト・カドギによる起業を中心として-」
6/1 13:25-13:45	A8松浦直毅（静岡県立大学）／山口亮太（日本学術振興会）「研究-開発-保全の統合的発展は可能か?-コング民衆共和国における水上輸送プロジェクトの実践-」	B8グリゴレ・リナ・フロレンティナ（東京大学）「オドリをさがす人々-舞踊ワークショップと民俗芸能におけるサードプレイスと身体-」	C8後藤健志（東京外国语大学）「アマゾン植民のポリティカル・エコロジー-『人新世』の状況に関する民族誌的記述／分析の試み-」	D8柄木田康之（宇都宮大学）「ヤップ離島自由連合移民のアイデンティティ戦略と葬送の戦術」	E8中川理（立教大学）「部分的アナキズム-フランスのモンの事例から-」	F8金セッピヨル（総合地球環境学研究所）「喪葬(サショ)が橋渡しするもの-韓国葬儀の変化の重層性-」	G8黄潔（京都大学大学院）「移住とアウェイの慣行-中国南部のトン族社会における建前と本音-」	H9伊東さなえ（京都大学）「ネパール・ゴルカ地震への対応にみる重層的ローカリティ-カトマンドゥ盆地の事例から-」
6/1 13:50-14:10	A9平野智佳子（神戸大学）「アボリジニの酒の分配-中央オーストラリアの事例から-」	B9 COKER CAITLIN（京都大学）「暗黒舞踏のアフェクト-踊りを伝達する際の身体的な働きかけ-」	C9内山田康（筑波大学）「再処理工場と原発のある海辺の生活と人類学の方法論-ノルマンディのラ・アーグと福島の富岡で考える-」	D9ゴロウイナ・クセニヤ（東京大学）「Materiality and (Non-)transnationality: Russian-speaking Migrants in Japan Along their Life Course」	E9福田真郷（京都大学大学院）「沖縄の米軍軍用地内の黙認耕作-基地の受容/反対を超えて-」	F9大澤隆将（総合地球環境学研究所）「地方分権化と民主的選挙が生み出す『ビッグマン』-東部スマトラに暮らすアキットの共同体における村落長選挙の事例を通して-」	G9ケイ光大（慶應義塾大学大学院）「現代中国における宗教と世俗の調整と再構築-中国広東省梅州市『香花派』におけるスティグマ現象の事例から-」	H10吉元菜々子（首都大学東京）「誰かが私の『話をする』-ネパール、グレン村落におけるゴシップと『反-排除』の倫理-」
6/1 14:15-14:35	A10丹羽充（日本学術振興会／東京大学）「ネットワークの陥穀と憂鬱-ネバール大震災後のプロテストによる復興活動を事例として-」	B10山口未花子（岐阜大学）「描かれた動物が紡ぐもの-カナダ・内陸トレンギットの装飾品"レガリア"の分析から-」	C10大杉高司（一橋大学）「原油を地中に留めること-エクアドルの『ヤスニITTIYニアティヴ』と人類学のスケーリング-」	D10田村嘉之（北九州市立大学）「都市と農村の労働力移動と溶融の形態-インド西ベンガル州バンバラ南部集落の事例から-」	E10大津留香織（北九州市立大学）「関係修復と物語実践-認知的の共感とラディカル・オーラル・ヒストリーを中心とした考察-」	F10西島薰（京都大学）「神聖王のポリティクス-西部カリマンタンのウルアイ王権の事例から-」	G10拉加本（総合研究大学院大学）「チベット・アムド地域における仏教、ボン教、道教などの混交の宗教実践-中国青海省海南チベット族自治州貴南県砂溝郷ボンコル村の事例を中心に-」	H11百瀬響（北海道教育大学札幌校）「研究記録と文化伝承のための協働について-『早川昇ノート』の解説と出版に伴う関係地域との交渉を通じて-」
								J11陳王玉勲（台湾大学）「ドイツにおける日本食の現代的な変容-スーパーで販売されるすしを事例として-」

6/1 14:40-15:00	シンポ準備	B11平田晶子（東京外国语大学）「ソーシャル・メディア活用にみる倫理的価値創造－東北タイ芸能集団の保証システムの事例から－」	C11里見龍樹（早稲田大学）「『沈む島』と『育つ岩』－ソロモン諸島マライタ島北部のラウ／アシにおけるサンゴ礁居住の動態－」	D11中野歩美（国立民族学博物館／関西学院大学大学院）「北西インドに暮らす移動民ジョーギーの『定住化』後の居住様式に関する考察」	E11細谷広美（成蹊大学）「人権ディスコースとアート－暴力の記録、記憶、『証言』と表現－」	F11青木恵理子（龍谷大学）「貨幣経済化の潮流のなかの社会性－インドネシア・フローレス島中央山岳部における紡織の社会的生に焦点をあてて－」	G11張平平（北九州市立大学）「伝統文化の視点から見るチベット族の牛糞利用－ラサ周辺のウ・ツァンチベット族と青海省アムドチベット族の事例から－」	H12吉本裕子（横浜市立大学）「ライフストーリー展示の可能性－現代アイヌ文化展示の一試案から－」	J12山内由理子（東京外国语大学）「オーストラリア北西部の町ブルームにおける日本人移民と食をめぐって－ディアスボラ的経験と場の生成－」
6/1 15:05-17: 30									

6/1
15:30~18:00

6/1
19:00-21:00

懇親会

2019年6月2日（日）

6/2 9:00~9:20	A11井田暁子（国際協力機構／フランス国立科学研究センター）「小児癌と死期の告知を巡る医師の沈黙とその社会的文脈－セネガル共和国ダカール市的小児科病棟における事例－」	B12金龍哲（神奈川県立保健福祉大学）「『大师』の誕生－チベット族の村に生き延びたチベット族ハンガイの家系－」	C12牛久晴香（早稲田大学）「『倫理的消費』を機能させる仲介者の商実践－ガーナ北部におけるボルガ・バスケット取引の事例から－」	D12大竹碧（京都大学大学院）「土地返還運動に参与しない住民たち－マーシャル諸島クワシ－エリン環礁で行われた強制移住の事例－」	E12神原ゆうこ（北九州市立大学）「コミュニティと市民活動を支える政治不信－スロヴァキアの人々が語る政治とその距離感－」	F12藤倉康子（京都大学）「周縁性の変容とジエンダー－西ネバールにおける共同体再編をめぐって－」	G12宮平盛晃（琉球大学）「ラオス北部の山岳少数民族における村落レベルの動物を要する防災儀礼の態様と変化－コクナン村を事例とした防災儀礼の農耕儀礼化・祖先祭祀化の可能性－」	H13古川勇気（山梨大学）「ペルー山村における農民の計算と配慮－チーズ技術供与の開発を事例として－」	J13吉田航太（東京大学）「ダグラスからガイヤーへ－インドネシアのゴミ問題におけるテクノロジーの絶えざる増殖について－」
6/2 9:25-9:45	A12中村友香（京都大学）「『副作用』をめぐる経験－現代ネバールにおける薬剤と身体－」	B13日丸美彦（愛知県立大学大学院）「ルソン島北部コーディリエラ棚田群での教育演劇の実践」	C13賀玉龍（大阪大学）「『エア・ジョーダン』とスニーカー消費－正規品と『場貨（Changhuo）』の間に－」	D13竹田響（京都大学）「在日コリアンの国境を越えた親族ネットワーク－帰国事業で『祖国』に渡った人びとと日本に暮らす人びとの繋がりと選択－」	E13黒田賢治（人間文化研究機構／国立民族学博物館）「情動的政治と個人の変容－－イランにおける帰還民兵の事例から」	F13上之郷奈穂（東北大）「大相撲文化の変容」	G13増野高司（総合研究大学院大学）「タイ北部のミエン族が暮らす山村における陸稻栽培技術の変化」	H14西村一之（日本女子大学）「複数からなる台湾漁民社会－在地漁民と越境する漁業出稼ぎ者による水際空間－」	J14深山直子（首都大学東京）「気象災害に対する環礁社会のレジリエンス－2005年にサイクロンが襲来したクック諸島ブカブカの事例より－」
6/2 9:50~10:10	A13道信良子（札幌医科大学）「エスノ/フォトグラフィック・フィクション」	B14南部彰子（エクセター大学（イギリス））「Roles of teachers and school culture in the JET Programme: an ethnographic study」	C14櫻井想（龍谷大学）「鬼市再考－近代天津における鬼市についての経済人類学的考察－」	D14永田貴聖（大阪国際大学）「韓国・済州島済州市におけるフィリピン人移住者の社会関係について」	E14飯塚宣子（京都大学）「パフォーマンスによる社会との対話－ワークショップ『動物と話す方法』の開発と実践－」	F14足立賢二（宝塚医療大学／名古屋大学大学院）「古武道関係者における『文化財』概念の流用－近現代における『文化財』の意味づけの分析から－」	G14吉野晃（東京学芸大学）「ケア労働者を迎える家族－オーストリア農村の調査から－」	H15森明子（国立民族学博物館）「ケア労働者を迎える家族－オーストリア農村の調査から－」	J15佐野文哉（京都大学）「フィジー手話話者はいかに空間を共有するか－生きられた空間としての手話空間－」

6/2 10:15-10:35	A14杉本洋（新潟医療福祉大学）「切ることにより生成する関係性・自立性－メンタルヘルス関連当事者活動からの考察－」	B15湖中真哉（静岡県立大学）「グローバルな当事者間のニーズ共有接近法－ケニアのナロック県と日本の静岡県を繋ぐ人類学的教育実践の事例から－」	C15伍洲揚（首都大学東京）「Silent Initiatives and Seasonal Business: A Case Study on the Ritual Merchandise Vending in Periodic Marketplaces of Northern Dali.」	D15朴歎（東北大学）「中国と北朝鮮の国境地帯における人びとの移動と生活実践に関する人類学的研究」	E15大石友子（広島大学）「境界を搖るがすゾウータイの『ゾウの村』を事例として－」	F15矢島妙子（明治大学）「伝播した祭りのゆくえ－グローバリゼーションの視点からの『よさこい祭』祭り－」	G15西田昌之（日本社会事業大学／国際基督教大学）「嵐を警告するキリスト＝フィリピン・レイテ島における災害フォーカ・カトリズムの発生と展開－」	H16酒井朋子（神戸大学大学院）「紛争体験の語りにおける笑いについて－北アイルランド紛争における暴力と日常－」	J16土田まさか（東京大学）「『聴者も手話を話す村』における言語の境界と変容」
6/2 10:40-11:00	A15杉山仁木（千葉大学大学院）「ケアの人類学における『ニーズ』概念の検討－静岡県T市における介護保険制度とデイサービスの提供過程を事例として－」	B16劉振業（京都大学）「『しばり』における不確実性に対する自己の意志の表出－中国マカオにおけるカジノのパカラの事例から－」	C16北原卓也（早稲田大学）「トンガ王国トンガタブ島の雑貨店ビジネスにおける中国系商店の現況」	D16宋基燦（立命館大学）「韓国における朝鮮学校卒業生の生活とアイデンティティ－『朝鮮舞踊』の実践を中心として－」	E16西江仁徳（京都大学／日本学術振興会）「チンバンジーのエスノグラフィの可能性－『ラディカルな他者性』を毀損することなく理解することは可能か？－」	F16渋谷努（中京大学）「移民居住地域におけるフェスティバルの重層的意義－豊田市H地域の事例を通して－」	G16今井彬暁（国立民族学博物館）「ベトナムのモンの儀礼における生と死のジレンマ」	H17岩瀬裕子（首都大学東京大学院）「共感と非共感に關わる試論－スペイン・カタルーニャ州における独立運動に關わる人間の塔のグループへの参与から－」	J17手塚恵子（京都先端科学大学）「書き言葉を捨てる－中国社族の新旧の書き言葉の過去と現在－」
6/2 11:05-11:25	A16桜木真理子（大阪大学）「感染症における人間と病原菌の生の重層－日本ハンセン病医学における菌形態の解釈と応用をめぐって－」	B17兼重努（滋賀医科大学）「自文化表象の虚実－西南中国トン族の事例から－」	C17山本真鳥（法政大学）「グローバル・サモア人世界の経済と儀礼－移民と本国籍の互酬性の展開－」	D17山本芳美（都留文科大学）「交流の印としてのタトゥー－彫師たちの身体を媒介としたコミュニケーション－」	E17伊藤泰信（北陸先端科学技術大学院大学）・大戸明子（KDDI総合研究所）「人類学者と企業研究所との協働をめぐって(3)－アカデミック人類学者として関与することの可能性－」	F17新ヶ江章友（大阪市立大学）「日本におけるセクシュアルマイノリティによる生殖医療の利用－レズビアン女性とゲイ男性はいかにして出会うのか－」	G17康陽球（京都大学大学院）「ベトナム南中部ラグライ人社会における国家の権威と精靈の力」	H18池田朋洋（東京大学大学院）「『ネットワーキングの論理』をめぐる社会運動の組織化とそのジレンマ－スペインの住宅ローン問題解決運動におけるソーシャルメディアの活用を事例に－」	J18岩谷洋史（神戸大学）「清酒製造における文書化の役割についての考察－『経過簿』に焦点をあてて－」
6/2 11:30-11:55	A17中川敏（大阪大学）「フェティッシュの記号論」	説明会準備	C18河野正治（日本学術振興会／京都大学）「財の展示を通じた関係性の創出－ミクロネシア・ポーンペイ島における首長制と祭宴の事例から－」	D18中生勝美（桜美林大学）「小林保祥のバイワニン族民俗絵画に見る儀礼と社会－台湾臨時旧慣調査の蕃族調査会－」	E18大戸明子（KDDI総合研究所）・伊藤泰信（北陸先端科学技術大学院大学）「人類学者と企業研究所との協働をめぐって(4)－企業内におけるエスノグラファーの評価－」	F18林春伽（日本女子大学大学院）「日本における月经の呼称使用に関する－考察－インターネットによるアンケート調査をもとに－」	G18伊藤まり子（ペトナム国家大学-日越大学地域研究プログラム）「信仰と『出世』願望－ペトナム南部地域における宗教組織の信者の事例から－」	H19田口陽子（一橋大学）「フィクションとしての親族－ムンバイにおける『流動的な核家族ユニット』と世帯運営－」	J19兼城糸絵（鹿児島大学）「歴史と観光をめぐるボリティクス－中国福建省のある村落を事例に－」
6/2 11:55-13:00	総会準備	科研審査の改革に関する質疑応答			昼食				映像
6/2 13:00-14:30					総会				
6/2 14:30-15:30					学会賞・奨励賞・受賞講演				
6/2 15:30-15:45					休憩				

6/2 15:45~16:05	A17~20 分科会8「不確実性の人類学に向けて」代表者（趣旨説明発表者）：市野澤潤平 渡邊日日（東京大学） 「〈不確実性の民族誌〉を読む」	B19~22 分科会9「グローバル化時代に月経はどう観られるのか—ガレ・禁忌・羞恥心」（代表：杉田映理） 杉田映里（大阪大学） 「政策課題となり政治化されたMHMと農村部における月経観の変化：ウガンダの事例から」 椎野若菜（東京外国语大学） 「〈不確実性の民族誌〉を読む」 阿由葉大生（東京大学博士課程）「インドネシアの保健制度：「リスク社会化」における不確実性」 吉直佳奈子（東京大学博士課程）「志向される不確実性：日本の女性不妊治療における患者の実践」 碇陽子（明治大学）「忘れることと自己：不確実性の認識主体についての試論」	C19~22 分科会10「インビジブルとビジブルな越境をよみとく：アジア・アフリカにおけるミクロヒストリーの視点から」（代表：王柳蘭） 王柳蘭（同志社大学）「離散中国ムスリム・パンロン人のミクロヒストリーにみる越境と自己像の模索」 下條尚志（静岡県立大学）「ミクロヒストリーと「大きな歴史」の絡み合う場：ベトナム南部メコンデルタ多民族社会における月経観と月経にかんする教育事情：ケニアとウガンダの事例から」 新本万里子（国立民族学博物館）「パパアニューギニアにおける月経をめぐる言説と女性たちの実践：保健教育を受けた世代に焦点をあてて」 菅野美佐子（国立民族学博物館）「北インド農村における月経をめぐる観念と実践に関する一考察：就学経験との関わりから」	D19~22 分科会11「祭礼における『脱暴力化』の研究」（代表：阿南透（江戸川大学）） 阿南透（江戸川大学）「とみなみ夜高まつりにおける脱暴力化」 中里亮平（長野大学）「神輿中心の祭礼における暴力、もめごと」 藤本武（富山大学）「福野夜高祭（富山県南砺市）における脱暴力化：「引き合い」の変化の検討」 村橋勲（京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科）「移動が越える境界、移動がつなぐ社会関係：ウガンダの難民居住地における難民と「ホスト社会」」 コメントーター：宮原暁（大阪大学）	E19~22 分科会12「少子化にゆれる東アジアの父系理念」（代表：玉城毅（奈良県立大学）） 長沼さやか（静岡大学）「ソーシャル・キャピタルとして家族を問なおす：日常の互酬と信頼構築を手がかりに」 上水流久彦（県立広島大学）「台湾の少子化と非婚化にみる祖先祭祀の行く末：娘と娘しかいない人々を事例に」 中村八重（韓国外語大学）「韓国の祖先祭祀はどうへ向かうか：大学生の祖先祭祀に対する意識調査を中心に」 玉城毅（奈良県立大学）「簡素化する死者儀礼と祖先祭祀：沖縄において死は隠蔽化されているのか？」 コメントーター：川口幸大（東北大学）／西村一之（日本女子大学）	G19岡本圭史（中京大学）「悪魔崇拝者とは誰か—ケニア、ドゥルマ社会における妖術言説・憑依言説の新展開－」 G20星野佐和（京都大学）「イスラーム・女性の朗唱の実践と解釈をめぐる—考察—セネガル・ニアセン教団を事例に－」 G21谷憲一（一橋大学）「痛みをめぐる感性の変化と宗教儀礼—テヘランにおけるシーア派自傷儀礼の事例から－」 G22田森雅一（東京大学／国立民族学博物館）「英領インド期の民族誌における音楽芸能カーストの『結晶化』とその余波—北インドのムスリム	H20難波美芸（一橋大学大学院）「電気自動車が喚起する未来と過去、人と街の関係－『エコ・ジェントリフィケーション』の観点から－」 H21田川夢乃（広島大学大学院）「誰が『動物園』の『動物』か？—フイリビン、M市のカラオケTVにおけるCCA－顧客関係の事例から－」 H22二文字屋脩（早稲田大学）「イズムなきアナギズム—ポスト遊動狩猟採集民ムラブリにみる“志向性なきアナギズム”－」 H23山下慶（鹿児島大学）「韓国の軍隊による兵役経験者への影響－『男になる』という観点から－」 J22菅沼文乃（南山大学）「老年者はなぜ、いかに人生を振り返るのか—沖縄都市部の自分史同好会参加者を事例として－」 J23松山啓（筑波大学大学院）「大相撲における力士の身体的実践」	
6/2 16:10~16:30								
6/2 16:35~16:55								
6/2 17:00~17:20								
6/2 17:25~17:45								

個人発表